

科目ナンバリング		U-LAS05 10009 LJ23							
授業科目名 <英訳>	地域地理学 Regional Geography			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授 小島 泰雄				
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)	地域・文化(基礎)		使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	月2		配当学年	全回生	対象学生	全学向
<b>【授業の概要・目的】</b>									
地域への地理学的アプローチ。 人びとの暮らしを支える地域を、地理学はどのように捉えてきたのか、そして地誌をいかに書いてきたのかについて考えてゆく。									
<b>【到達目標】</b>									
地域地理学の実際の研究過程、地理教育、地域論、地誌の伝統、さらに学史を考えることで、地域地理学の基本的な事項を理解する。									
<b>【授業計画と内容】</b>									
以下のような課題について、1課題あたり1～2週の授業をする予定である。授業回数は15回、最終回はフィードバック。 (1) 地域地理学と地理学：地域とは何か？ (2) 地域を考える：地域を共感的に理解するとは？ (3) 地域を調べる：なぜフィールドにでかけるのか？ (4) 地域を伝える：ステレオタイプ化を避けるためには？ (5) 等質地域：地域はどのように把握されてきたのか？ (6) 機能地域：もう一つの地域の捉え方とは？ (7) グローバル化：ローカルとしての地域とは？ (8) 風土記：なぜ地誌は書かれたのか？ (9) 方志：中国で書き継がれてきた地域とは？ (10) 近代と中国地誌：近代に中国をいかに書いてきたのか？ (11) 近代地理学と地域：科学としての地理学の形成の過程とは？ (12) 地域地理学の20世紀：地域そのものが問題？ (13) 地図と京都：地図の大切さとは？									
<b>【履修要件】</b>									
特になし									
<b>【成績評価の方法・観点】</b>									
主に期末試験による(8割)が、授業への参加度を加味する(2割)。 授業への参加度は、授業終了時のミニツツペーパー(5%)と授業後2週間以内に提出する課題レポート(15%)の提出によって測る。									
<b>【教科書】</b>									
使用しない									
----- 地域地理学(2)へ続く -----									

## 地域地理学(2)

### [参考書等]

(参考書)  
授業中に紹介する

### [授業外学修(予習・復習)等]

授業ごとに提示される課題レポートに取り組むことで、授業内容の理解を深め、さらに自らの興味関心に応じて発展させることが可能となる。なお課題レポートは3回の提出を標準とする。

### [その他(オフィスアワー等)]

履修希望者が教室の収容可能人数を超えた場合には、履修制限を行うこととなります。とくに履修を希望する学生には「教員推薦」を行う予定です。

### [主要授業科目(学部・学科名)]

総合人間学部